

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま
政治刷新中！

第49号
2018年6月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■人工内耳の助成拡大
■福岡から漫画を発信

古賀・福津合同で実現に全力 ルーマニア選手団と交流

古賀市と福津市が合同で、2020年の東京オリンピック・ルーマニア柔道代表の事前キャンプ誘致に取り組むことになりました。ルーマニア柔道代表の大石公平監督とアンドレイカ・ジャニーナ・コーチが6月、福岡県庁を訪問。小川洋知事と



来福したルーマニア柔道選手団を古賀・福津両市で歓迎=2018年6月4日、福岡大学

古賀、福津両市で歓迎し、私も地元の県議として同席しました。監督からは古賀、福津両市のスポーツ関連施設を視察し、両市から都市近郊で温泉や海などの自然に恵まれた環境もPRしました。

県内で複数の自治体が連携して一つの国の種目のキャンプ地を目指すのは初めて。福岡県と両市の魅力をルーマニア側にしっかりと伝え、全力でキャンプ誘致の実現を図っていきます。

最も大切なことは、キャンプ地になること自体が目的ではなく、今回の誘致に向けた取り組みそのものを、私たちの暮らし地域の魅力ある資源を発掘し、磨き、まちづくりに生かしていく契機とすることです。こうした

思いで、この間、私は県と地元をつないで取り組んできました。

子どもたちはスポーツを通じて夢や目標を持つ大切さを知ることができ、スポーツは健康づくりや介護予防といった私たちの生活の豊かさにつながります。キャンプ地となることで、外国選手たちとの交流の機会が生まれ、これからの社会に必要な国際感覚のある地域人材を育成し、多文化共生を推進することにつながります。

地域の産業や文化、自然などの魅力ある資源を国内外に発信する好機とすることで、地域の知名度向上や観光振興策としても有効です。郷土愛の醸成にもつながります。そして、キャンプの受け入れは、地域を挙げた「おもてなし」が大切。私たちが力を合わせて育んできたコミュニティの

力を発揮し、さらに伸ばすことができます。何より、相手国・地域と永く交流していく未来を想像すると、わくわくします。スポーツを核とした地域振興。しっかりと取り組んでいきます！

対話集会を各地 で開催中！

県議会における成果を報告し、皆さんから生活現場の「声」を聞かせていただく対話集会を各地の公民館・集会所で開催しています。この8年間で新たに動き出した数々の政策や地元の道路事業の進捗など多岐にわたるテーマでお伝えしています。ただ、このご意見やご要望は、私のこれからの活動に直結します。お近くで開催の際はぜひご参加ください。



議会活動の成果を分かりやすく説明
=6月6日、古賀市の中央区分館

田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集会を開催】
私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】
ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書(1~2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所(092-692-8510)までご連絡ください。

田辺の政治活動を
連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→ @tanabe_kazuki

人工内耳の買い替え助成が拡大 — 制度創設が県内8市町に！

福岡県から漫画の魅力を世界に発信！！

福岡県物産観光展示室「福岡よかもんひろば」（県庁11階）で企画展「フクオカ・マンガ・ワールド」を開催。会場では福岡ゆかりの漫画や作家さんを紹介し、高校の先輩でもある長谷川法世さんの名作「博多っ子純情」もずらり。「シティーハンター」の北条司さん、「おぼっちゃまくん」の小林よしのりさん、「進撃の巨人」の諫山創さんをはじめ300人も漫画家さんが福岡とつながりがあるといえます。

私は県議会の国際交流に関わる特別委員として初日のイベントにも参加。「クッキング・パパ」の作者、うえやまとちさんらによるトークショーも開かれました。鞍手町の廃校になった中学校を活用し、コスプレ撮影や音楽イベントなどの会場となっている「くらて学園」さんも協力し、イベントの司会の皆さんもまるでアニメから飛び出してきたかのようでした＝下の写真。福岡の魅力が海外の若者らに発信している多言語ウェブサイト「アジアンビート」も企画展と連動し、世界に発信。県としてこうした取り組みも引き続き推進していきます。



企画展で小川洋知事（前列中央）やうえやまとちさん（同右から3人目）と＝5月1日

<田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業（高51回）
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員会（～13年）
- 国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
- 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）
- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会
- 同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
- 同・タイ友好議員連盟事務局長
- 同・スポーツ議員連盟幹事
- 国民民主党全国青年委員長
- 国民民主党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
- 福中・福高同窓会顧問
- 古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】 会社員の妻、11歳の長男、7歳の長女
- 古賀東小学校PTCA前会長（PTCA=PTA+地域のC）



人口内耳の体外器買い替え助成の拡大を求めた一般質問＝2017年9月

私が本会議で提案したきっかけは、就学前のお子さんが人工内耳を装着している保護者の方からの問題提起。古賀市のお隣・福津市の中村清隆市議のご協力もとても大きなものでした。一人一人の県民の皆さんの「声」が政治に届けば、社会は少しずつでも変わっていきます。

こうした動きをさらに促進できるように、引き続き頑張ります。

うれしい話がありました。私が2017年9月定例会の本会議で提案した「人工内耳」の体外器買い替えや電池代への助成について、福岡県内の市町村で制度の創設が進んでいることが分かりました。提案当時、県内で3市（筑後、久留米、八女）だけだったところ、さらに5市町（福津、みやま、小郡、大牟田、篠栗）も増加。人工内耳友の会ACITAF福岡支部の支部長さんたちが私の事務所まで

昨年9月定例会で田辺が提案 高度難聴者の支援を強化

訪ねてきてくださり、この前向きな動きを教えてくださいました。人工内耳とは、従来の補聴器では対応できなかった内耳に障がいを持つ高度の難聴の方が音を感じることができるようになる装置。私の提案を受け、県は昨年11月、障がい福祉計画についての市町村ごとの個別ヒアリングの機会に、人工内耳がもたらす効果の重要性などを説明し、障害者総合支援法に基づき市町村地域生活支援事業の積極的な活用を働きかけ、制度創設を促しています。

大県政報告会を開催 — 政策実現を報告

「大県政報告会」を開催しました。古賀市だけでなく、福津市や宗像市、糟屋郡、さらには福岡市や北九州市からも多くの皆様にご参加いただき、心から感謝します。多様性を尊重する共生社会の実現、古賀市や周辺地域が連携した地域振興の推進、地方自治体による国際交流の重要性、古賀市の道路整備の進捗をはじめ多岐にわたるテーマで報告しました。



私の議会提案のきっかけとなった当事者の県民の方からも話を＝5月27日

私の議会提案を受け、福岡県が今年度から県立特別支援学校の医療的ケア体制を強化していますが、報告会の冒頭で、私の提案のきっかけとなった保護者当事者の方から経緯をお話いただきました。

私からは、医療的ケア体制の強化に加え、古賀・福津・宗像・糟屋地域が連携しての経済・観光振興▽障がい者の就労・生活支援▽あまおうの輸出促進や6次産業化などの農業振興策▽小中学校の正規教員の増加計画▽福岡県へのタイ総領事館設置と次世代のための国際交流の推進▽都市計画道路・中川熊鶴線の整備の意義▽青年議員の全国ネットワークを生かした骨髄ドナー支援策の一斉展開——などを報告しました。

こうした大規模な報告会だけでなく、引き続き、自治会単位の対話集会も開催していきますので、お近くで開催の際はご参加のほどよろしくお願いたします。